

令和 8 年第 4 回美咲町議会定例会一般質問

記

質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	備 考
山 本 宏 治	① 窓口業務の今後について	全国的に窓口の開庁時間を短縮する動きが広がっている。開庁時間の短縮に係る窓口調査も実施していると報告を受けたが、本町としての考えを伺いたい。 職員の勤務時間と窓口業務の開始、終了時間の関係については、近年の働き方改革などの中で配慮すべきことであると考え。窓口業務は、書かない窓口やいつでもどこでも窓口などのDX化、マイナンバーカードなどを利用したコンビニ交付など多様化していると考えられるが、今後についての考えは。 (1) 窓口業務の時間短縮について、目的と理由を伺いたい。 (2) 窓口業務の時間短縮について、住民サービスへの影響についてどの様に考えているか。 (3) 平日に来庁が難しい町民や子育て世代、高齢者などへの対応は考えていくのか。	町 長	

		(4) 窓口業務の時間を短縮する場合、予約制やオンライン手続きなどによる住民サービスの維持、向上を図る具体策はあるのか伺いたい。		
	② 子ども、子育て応援に係る事業について	みさキッズ応援自動販売機が本庁舎、各総合支所などに設置されている。6月定例会で町長の報告にもあったが、みなさんのご協力により多額の寄付金をいただいた。 子育て支援などへの貴重な財源になるが、今後の施策の考えがあれば伺いたい。 (1) みさキッズ応援自動販売機他にどのような子育て応援寄付金の仕組みがあるのか。 (2) 子育て応援寄付金を利用した事業があれば報告願いたい。また、今後の事業について考えがあれば伺いたい。 (3) 高梁市、吉備中央町との3市町で「ベビーファースト宣言」をし、その後中部高原地域3市町で連携事業を行ったが、その事業効果はどうか。 (4) 子どもたちの衣類などのリサイクルイベントを開催できないか。大阪府岬町では、「みさき・おさがりリサイクル」が開催されており、両町での交流イベントなどは考えられないか。	町長	
三 船 博 之	① 美咲町のスポーツ推進について	(1) 美咲町内のスポーツクラブやスポーツ教室の団体数や活動内容の把握はできているか。 (2) 準公務員としての町全体のスポーツ組織があるが、その位置づけはどのようなになっているのか。 また、全体の組織図は作成しているか。	教 育 長	

		(3) 令和11年度より中学校の部活動が地域に移行されることになっているが、準備はできているか。		
	② 通学路における 自転車道・歩道設 置の要望について	自転車の安全利用が厳格化され、自転車は道路交通法上では「自転車歩道通行可」の表示がない歩道は通行することができず、車道左側の通行となり危険なうえに、交通違反の対象ともなりえる。このことについて町の考えは。 また、中央地域で産業団地の整備を計画しているが、アクセス道路の国道には自転車道も歩道も無い。これについても町の考えを問う。	町教 育 長 長	
	③ 町職員駐車場の 整備について	昨年12月定例会で質問したが、新たな職員駐車場の整備は進んでいるか。 また、現在使用している駐車場を改良し、利便性を向上させる考えはないか。	町 長	
山 本 資	① 大規模災害発生 時の対応について	夏と冬では、避難所の対応はまるで違う。能登半島地震は真冬、今回の熊本地震は酷暑日の真ただ中。災害対策の基本理念は「被災者の良好な生活環境の確保」である。大規模災害が発生した場合、被災者の健康をしっかりと見守る態勢が整っていると思うか。 また、上下水道管の耐震化については全国的な課題であるといわれているが、本町の状況はどうか。	町 長	
延 原 正 憲	① 農作物への鳥獣 被害対策の強化 を図れ	有害鳥獣による農作物への被害は、耕作意欲を削ぎ、ひいては離農、耕作放棄地の増加、地域からの転出、集落の崩壊につながる重大な課題である。 (1) 有害鳥獣捕獲体制強化に対する町の基本姿勢を問う。	町 長	

		(2) 過去3年間の有害鳥獣の捕獲実績を問う。 (3) 過去3年間の有害鳥獣駆除班員数を問う。 (4) 狩猟免許取得及び免許更新経費への助成実績を問う。 (5) 駆除班員の報酬の増額と免許更新経費の全額助成を検討すべきでは。		
	② 柵原ふれあい鉱山公園の有効活用を図れ	柵原ふれあい鉱山公園は、旧柵原鉱山の資料館や旧片上鉄道の駅舎や車両を展示・運行できる日本でも重要かつ貴重な観光施設であり、その有効活用が課題となっている。 (1) 柵原ふれあい鉱山公園（資料館、駅舎、車両、線路、公園の展示設備など）今後の維持保存方針を問う。 (2) 当該公園条例第4条に規定する公園運営協議会の開催状況と審議状況を問う。 (3) この公園施設に配置している地域おこし協力隊員の活動内容は所期の目的を達成しているのか。 (4) 車両の動態保存はできているのか。	町長	
大天嘉行	① 指定管理施設の現状について	(1) 指定管理に出されている施設数はどうなっているか。 (2) 各施設の指定管理料は、適切に算定されているか。	町長	

		(3) 自主運営並びに指定管理料が支払われていない施設の運営はどうなっているか。 (4) 各施設の指定管理の必要性和、各地区への移管並びに見直しは検討しているか。 (5) 指定管理の事業報告について、管理状況並びに収支は確認しているか。		
	② 職員定数条例の 職員数と会計年 度任用職員数に ついて	(1) 合併後職員定数の減少と、会計年度任用職員の採用で人件費の削減効果はどうなっているか。 (2) 会計年度任用職員採用は、職種によっては必要であると思われるが、一般事務補助として任用している職員の長期にわたる必要性和処遇はどう考えているか。	町	長
矢 吹 一 郎	① 第4次美咲町振 興計画について	第4次振興計画において、基本構想、基本計画を策定され、持続可能なまちづくりを掲げ、みさき新時代への取り組みとして「賢く挑戦するまちづくり」を示されている。 少子化問題、若者定住化施策、空き家対策など多くの課題に対しての計画を提示されているが、特に町長が最重要視している点について伺いたい。 また、各課において、賢く挑戦する取り組みについて現在考えている具体的な取り組みがあればお聞きしたい。	町	長

板垣正寿	① 若者目線の政策提案「Wacca.Project（ワッカプロジェクト）」の目指すものは 【第4次振興計画：若者が活躍するまちづくり（20頁）】	本町は、第4次美咲町振興計画の策定にあたり「若者・夢みらい会議」で出された若者の意見を積極的に計画に反映し、令和8年度の重点施策の一つとして「若者が活躍するまちづくり」を掲げた。 本町は、本年度9月からまちづくり施策に若い世代の視点を取り入れる新たなプロジェクト「Wacca.Project（ワッカプロジェクト）」を開始する。 これについて以下を問う。 （1）本プロジェクトの実施に至った経緯とその概要は。プロジェクトの目的、事業内容、実施体制、参加対象者などについて問う。 （2）想定している予算と財源について。本プロジェクトの事業費はどの程度を見込んでいるのか。また、その財源について、一般財源、国・県の補助金、地方創生関連交付金、企業や民間との連携など、どのような方法で確保する考えなのか問う。 （3）期待する効果と目指す将来像について。本プロジェクトにより、人口減少対策、若者の定住・移住促進、地域コミュニティの活性化、地域産業の振興など、どのような効果を期待しているのか。また、「みさき新時代」の実現に向け、本プロジェクトを通じてどのようなまちづくりを目指しているのか、町長の考えを問う。	町長	
	② ネイチャーポジティブ（自然再興）に対する本町の考えは 【第4次振興計画：生活環境の保全（74頁）】	人手不足や地域経済の活性化が本町の課題となる中で、地域の魅力を高め、地域が持つ本来の価値を発揮して地方創生・地域共創のまちづくりを実現していくためには、その基盤となる地域の自然資源に目を向けることが重要である。 近年、日本を含め世界で注目されているのがネイチャーポジティブという考え方である。ネイチャーポジティブとは、日本語で「自然再興」と訳され、生物多様性の損失を止めて回復・反転させることであり、住民の暮らしや社会経済を持続可能なものにしていくためにも、	町教 育 長 長	

		また、里山の恵みを未来ある美咲の子どもたちへつなぐためにも重要な考え方である。 日本では２０２３年３月に「生物多様性国家戦略２０２３－２０３０」が閣議決定しており、２０３０年までにネイチャーポジティブを達成するという目標が掲げられている。 これについて以下、本町の見解を問う。 (１) ネイチャーポジティブに対する本町の考えは。生態系や生物多様性の観点を踏まえた本町の見解を問う。 (２) ネイチャーポジティブの推進・実現のためにも、まずは関係する各課に横断的な理解を促し、町内の各種関連団体や事業者、地域住民への周知・啓発を図ってはどうか。 (３) ネイチャーポジティブの考え方は、環境問題はもとより社会経済における重要な課題である。本町の学校教育の中で、ネイチャーポジティブについて学習する機会はあるか。 (４) 自然資源の価値を定量化し、クレジットとして取引する市場づくりが全国的に加速しており、自然環境の保全が経済的リターンを生む仕組みへと移行しつつある。町内事業者との共創はもちろん、ビジネス創造施設 LiSH との共創として、ネイチャーポジティブ経営を推進する事業者・企業と本町とのマッチングを図る取り組みが考えられないか。		
藤井智江	① 国民健康保険の負担軽減を	(１) 就学前の乳幼児に対する均等割半額免除が２０２７年度から１８歳までに拡大されるが、町の政策として、残りの半額も免除できないか。 (２) 社会保険の加入対象拡大に伴う短時間労働者の国民健康保険脱退による国保会計運営の見通しは。	町	長

		(3) 保険者努力支援制度による美咲町への配分状況は。		
	② 災害に対する備 えは十分か	(1) 木造住宅の耐震診断・耐震改修の補助制度の周知は十分か。 (2) 木造住宅耐震診断・耐震改修補助金の申請件数、及び金額は。 (3) 地域の井戸水の水質検査の補助はできないか。 (4) 家庭用ポータブル蓄電池及びその蓄電池に充電するためのソー ラーパネルに対する助成はできないか。	町	長
	③ まちづくり共創 ミーティングの 成果は	(1) まちづくり共創ミーティングに対する住民の反応、成果は。 (2) 地域がかかえる課題にはどんなものがあるか。 (3) まちづくり共創ミーティングを今後のまちづくりにどのように 活かすのか。	町	長